

# 令和5年度公的職業訓練効果検証WG報告書の概要

## 1. 効果検証対象訓練分野

デジタル分野

## 2. 対象とした訓練コース

「ICTシステムサポート科」、「WEBプログラミング科」、「VBAプログラミング科」、「Webサイト制作科」

## 3. 効果検証方法

対象とした訓練コースの関連職種に就職した修了者（39名）、その就職先事業主（36社）、対象とした訓練コースの実施施設（3施設）を対象にアンケート調査を実施し、その結果をもとに効果検証を実施。

## 4. デジタル関連就職先について

現状でのデジタル関連の就職先を6分類に整理し、今回の効果検証対象訓練コースの就職先ターゲットについて2, 3Pに記載。

## 5. アンケート結果から見える課題

「①訓練内容で不足していると思われるもの」、「②訓練内容以外で不足していると思われるもの」に整理し7, 8Pに記載。

## 6. 今後の検討の方向性について

「課題及び今後の技術動向等も踏まえた今後の検討の方向性について9, 10Pに記載。

令和5年度

公的職業訓練効果検証WG報告書

(デジタル分野)

岡山県地域職業能力開発促進協議会WG

## 目次

1. 岡山県内の訓練コース.....	1
① 各コースの目標 .....	1
② 各コースの特徴 .....	1
2. デジタル分野の訓練において就職ターゲットとする業界について .....	2
① デジタル関連就職先の概要 .....	2
② 各訓練コースの就職ターゲット業界 .....	3
3. 訓練カリキュラム関連キーワード .....	4
4. アンケート結果からわかったこと .....	7
① 訓練内容で不足していると思われるもの .....	8
② 訓練内容以外で不足していると思われるもの .....	8
5. 今後の検討の方向性 .....	9
① ICT システムサポート科 .....	9
② WEB プログラミング科 .....	9
③ VBA プログラミング科 .....	10
④ Web サイト制作科 .....	10
⑤ その他 .....	10
<b>【A 受講者アンケート要約】 .....</b>	<b>i</b>
① 訓練で学んだ知識等のうち、仕事をする上で役立っているもの、(あまり)役立っていないものがあれば記載してください。 .....	i
② 就職後に感じた、訓練で学んでおくべきであったスキル、技能等について具体的に記載してください。 .....	ii
③ 訓練施設、ハローワークが実施する就職支援の中でよかったものについて具体的に記載してください。 .....	ii
④ その他 職業訓練全般についてご意見等あれば記載してください。 .....	iii
<b>【B 訓練実施機関アンケート要約】 .....</b>	<b>iv</b>
① 最近の受講者の傾向について気付いた点があれば具体的に記載してください。 .....	iv
② 訓練実施にあたって工夫している点について具体的に記載してください。 .....	v
③ 訓練実施機関が行っているキャリアコンサルティングの状況について具体的に記載してください。 .....	vi
④ 就職支援の取り組み(就職につながった事例、継続している取組、最近変えてみてよかった取組等)について具体的に記載してください。 .....	vi
⑤ 訓練実施にあたって国への要望、改善してほしい点について具体的に記載してください。 .....	vi
⑥ その他 職業訓練全般についてご意見等あれば記載してください。 .....	vii
<b>【C 就職先企業アンケート要約】 .....</b>	<b>viii</b>
① 訓練により得られたスキル、技能等のうち採用後に役に立っているものについて具体的に記載してください。 .....	viii
② 訓練において、より一層習得しておくことが望ましいスキル、技能等について具体的に記載してください。 .....	ix
③ 訓練修了者の採用について、未受講者(未経験者)の採用の場合と比較して期待していること(同程度の経験等を有する者同士を比較。採用事例が無い場合は想定で)について具体的に記載してください。 .....	x
④ その他 職業訓練全般についてご意見等あれば記載してください。 .....	x

## 1. 岡山県内の訓練コース

### ①各コースの目標

令和4年実施のデジタル分野4コースについての訓練目標は下記の通りである。

#### ICTシステムサポート科（6か月）

- ・生産工程の効率化と生産品質の重要性を理解し、生産管理システムを構築できる。
- ・PLC、IoT機器などエッジデバイスをネットワークに接続し、データの取得及び蓄積ができる。

#### WEBプログラミング科（3か月）

- ・情報サービス業やWEB・コンテンツを提供する企業においてWEBアプリケーションの開発や基盤構築及びWEBの企画・デザイン・制作の基本作業ができる。
- ・ホームページやネットショップへの集客を上げ、売上を伸ばすことができる。

#### VBAプログラミング科（5か月）

- ・エクセルVBA、アクセスVBAを中心に学び、Excel内での作業にとどまらず、他のアプリケーションソフトとの連携方法などの知識・技能を習得し、様々な業務の効率化や生産性向上につなげるとともに、問題の原因や本質を考える能力を身につける。

#### Webサイト制作科（5か月）

- ・Webサイトの制作・運営・管理を行うことができる知識・技能を習得し、一般企業のWeb担当者や、製造業等のECサイト担当者として必要な能力を身につける。

### ②各コースの特徴

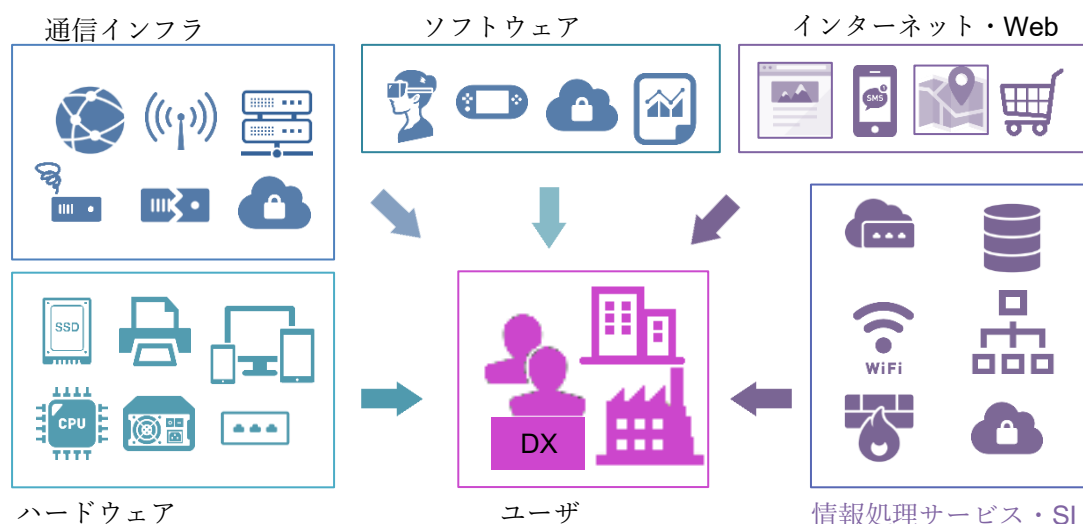
全科共通の訓練内容は、HTML/CSS、JavaScriptなどがある。ICTシステムサポート科とVBAプログラミング科は、各企業内で社内SEや製造や間接部門でITを活用する立場で活躍できるDX人材育成を目指している。VBAプログラミング科の訓練内容は、概ねICTシステムサポート科の内容に含まれているが、特に事務部門への就職に必要な部分に絞って効率よく実施されている。

また、Webプログラミング科とWebサイト制作科は、似ているように見えるが、前者はシステムの開発側、後者はシステムの利用側と、同じWebサイトに関する業務ではあるがそれぞれ立場や視点が異なっている。Webプログラミング科はWebサーバ上で動作するPHPなどのプログラミングやWebマーケティングに関する内容を含んでいる。一方Webサイト制作科は企業が自社のWebサイト用のデータ作成に不可欠なAdobeのIllustratorやPhotoshopなどWebサイトのデザインに関する内容を主としている。

## 2. デジタル分野の訓練において就職ターゲットとする業界について

### ① デジタル関連就職先の概要

デジタル関連の就職先といえば、ハードウェア業界、web 業界、通信インフラ業界などが思い浮かべられるが、他にも存在している。一般にデジタル業界は下図のように 5 つの分類に分けることができるが、就職ターゲットとして考えた場合は、ユーザ企業内でのデジタル関連の仕事も考えられる。



#### ① ユーザ

- ・DXを推進している企業で生産性の向上に関する業務を行ったり、自社Webサイトや社内システムの構築保守を行います。

#### ② インターネット・Web業界

- ・インターネット・Web業界は、企業向けのインターネット広告やネットワーク構築、個人消費者も含めたWebサイト・アプリケーション・SNSの制作や運営などを担う業界のことです。大きくはBtoBとBtoCの2種類の企業があります。

#### ③ 情報処理サービス・SI業界

- ・あらゆる業界や企業の業務を円滑に進めるためのシステムを、企画から運用まで一貫して請け負う業界のことです。一言で述べると、顧客企業が抱える課題をIT（システム）で解決する業界です。

#### ④ 通信インフラ業界

- ・電話回線や通信網などのインフラを整備・提供する業界です。通信インフラにより送受信されるデータ量は増加し続けています。スマートフォンも通信も年々増えているなど、通信インフラ業界はこれからも欠かせない存在です。

#### ⑤ ソフトウェア業界

- ・パソコンやスマートフォンを動かす基本のソフトであるOSを開発したり、特定の作業を行うために使用されるアプリケーションソフトを開発します。

#### ⑥ ハードウェア業界

- ・コンピューターなどの電子機器や電子回路などの「モノそのもの」を指し、ハードウェア業界はモノづくりを行います。

②各訓練コースの就職ターゲット業界

各科の訓練目標と今回のアンケート結果から主たる就職先希望業界を表に示す。

ICT システムサポート科	①ユーザ②情報処理サービス③通信インフラ④ソフトウェア
WEB プログラミング科	①インターネット・Web 業界④ソフトウェア
VBA プログラミング科	①ユーザ④ソフトウェア
Web サイト制作科	①ユーザ④ソフトウェア

### 3. 訓練カリキュラム関連キーワード

#### AWS

Amazon が提供するクラウドコンピューティングプラットフォームで、世界中の企業や個人が利用できます。AWS は、コンピューター、ストレージ、データベース、ネットワーク、セキュリティ、人工知能、IoT など、さまざまなクラウドサービスを提供しています。また、初心者にとって AWS は、クラウドリソースへのアクセスをより簡単にし、スケーラビリティやセキュリティの向上をサポートする強力なツールです。AWS を学ぶことで、アプリケーション開発、データ分析、ウェブホスティングなど、さまざまな用途で利用できるスキルを習得できます。

#### クラウド

クラウドは、オンライン上に存在するコンピューターサーバーやデータストレージ、ソフトウェアなどのリソースへのアクセスを提供する仕組みです。これにより、データやアプリケーションをインターネットを介して利用できるようになります。クラウドを使用することで、物理的なサーバーやインフラストラクチャーを自分で保有・管理する必要がなくなり、コストを削減し、柔軟性を高めることができます。

#### 電子証明 (Digital Certificate) :

オンライン環境で通信や取引の安全性を確保するために使用されるデジタル文書のことです。特定のウェブサイトが本物であることや、特定の電子メールが信頼できるものであることを確認するのに使用されます。電子証明は、信頼できる認証機関 (CA) によって発行されます。

電子証明を利用して、情報を暗号化できます。ウェブサイト間のデータの暗号化とセキュアな通信を実現するために SSL 証明書が使用されています。アドレスに「https://」が表示される場合、そのウェブサイトは暗号化されていて SSL 証明書を使用していることを示しています。

#### 電子署名 (Digital Signature) :

電子証明は情報の送信者を確認し、信頼性を提供するのに対して、電子署名は文書やデータの改ざんを防ぎ、データの信頼性を確保します。両方の技術はデジタルセキュリティとプライバシーの向上に不可欠です。

#### DX (Digital Transformation)

DX は、デジタルトランスフォーメーションの略です。DX とは、データとデジタル技術によって商品やビジネス、業務、企業文化等の変革を成し遂げるものであり、その目的は競争力の維持・獲得・強化を果たすことにあります。2018 年 12 月に経済産業省は、DX 推進ガイドラインを出しました。

#### デジタル化

これまで紙を用いて作成していた書類をデジタル化して共有するようしたり、連絡手段として FAX ではなくメールやチャットツールを使用したりすることは「デジタル化」の一種です。デジタル技術を活用して業務効率化やコスト削減を実現します。アナログで行ってきたビジネスプロセス

をデジタル化することは、あくまで DX を実現するためのステップのひとつで、DX は総合的・網羅的な概念です。

### GitHub

GitHub (ギットハブ) とはプログラムのソースコードを、オンラインで共有・管理するサービスです。GitHub は世界中のプログラマによって使われています。たとえば複数のプログラマが共同でプログラムを開発する際に、どのファイルが最新版が分からなくなったり、編集中のファイルを他の誰かに上書きされてしまったりすることが少なくありません。Git でバージョン管理を使えば、どのファイルが最新版かを簡単に把握できるようになる上に、上書きなどによるトラブルを防げます。

### HTML/CSS、JavaScript

HTML/CSS は Web サイト記述用言語です。データのこの部分を見出し、ここは本文などの意味付けを行う HTML とフォント色や画像の配置など書式設定を行う CSS とそれぞれ機能があります。JavaScript はカーセルのように画像を順に表示するなど動きを与えるプログラムです。これらは Web サーバ上に置かれています。PC やスマートフォンでサイトを閲覧するときにページのデータをダウンロードしてブラウザが表示します。クライアント機器で動作するのでクライアントサイドスクリプトと呼ばれます。

### IoT (Internet of Things)

温度センサーやカメラなどの機器 (モノ) をインターネットに接続する技術のことです。たとえば録画機器とスマートフォンをつないで、外出先からでも録画予約ができるようにしたり、冷蔵庫とスマートフォンを連動させて、冷蔵庫の中身を把握したりといったことができます。インターネットとさまざまな電子機器をつなぐことで、生活をより便利に快適にしていこうという取り組みが進められています。

### マクロ/VBA

マクロとはまさに録音機能のようなものです。エクセルなどで例をあげると、「エクセル上で行った操作」を記録する機能で、「記録された操作」は何度でも繰り返し使えるようになります。マクロ機能はその操作内容がプログラム言語に変換されて、プログラムの形で内部に書き残されません。このプログラム自体が「マクロ」であり、そのプログラムを作っているプログラム言語が、VBA(Visual Basic for Applications)です。Excel や Access 等においては自動化の範囲は、マクロが基本的にアプリケーション単位です。

### PHP

Web サイト記述用のプログラム言語で、データは Web サーバに置かれています。実行するとサーバ内でプログラムが動作し、ファイルやデータベースにアクセスし、データ更新などが行われます。サーバ内で動作するのでサーバーサイドスクリプトと呼ばれます。WordPress にもつかわれています。



## RPA

RPAは「Robotic Process Automation」の頭文字を取ったものです。PC上で行うさまざまな操作を自動化できます。RPAの大きな特徴は、OfficeアプリケーションやWebブラウザ等、広範囲に横断した作業を自動化できる点です。システム開発等の大規模な設備投資をせずとも、さまざまな作業の自動化が実現可能です。これまで高度な自動化を実現するには、プログラミング言語を理解して実装する必要がありますが、RPAの中にはそのような専門知識が不要なものも存在します。

## WordPress

WordPressはPHPというプログラミング言語で作られているCMS（コンテンツマネジメントシステム）の一種で、ブログやWebサイトを作る事ができます。世界中で利用されているWordPressですが、日本でも人気が高く、利用されたCMSのうちWordPressが8割を占めるほどです。個人ではアフィリエイト等のブログに、企業ではWebサイトや記事メディアと広く使われています。

#### 4. アンケート結果からわかったこと

##### 受講生の意見

- ①訓練内容は概ね良い
- ②訓練に不足するもの  
基礎以上のレベルの知識、Git（バージョン管理）、派遣などの働き方に対する知識、クラウドの知識、WordPress のスキル、調べる能力
- ③就職支援は概ね満足
- ④訓練以外で不足するもの  
県北部での就職支援の充実、会社の見学の機会、基本情報に対する対策の充実

##### 実施機関の意見

- ①受講者の傾向  
IT 関連職種への応募に制約があり、年齢や経験によって就職活動が難しい人が多い。しかし、自己学習で経験を積んだ人や IT の重要性を認識している人は効果的な訓練を受けることができ、モチベーションも高い。一方で、IT に関するイメージしか持っていない人や 40 歳以上の受講者はギャップに苦労することが多い。
- ②訓練効果  
デジタル分野のコースは難易度が高く、年齢が高くなるほど理解に時間がかかる傾向がある。VBA コースには Excel 経験がない人が多い。受講希望者の中にはフリーランスになりたいと考えている人が多く、習得する意識が低い。
- ③工夫していること  
受講生との情報共有や受講者への各種案内、受講生同士でのオンラインでの座談会や勉強会の実施など、効率的なサポートが行われている。講義内容としては、画面共有による授業や PDF の教材の活用が採用されており、実務を意識した実習や演習も行われている。また、現役の Web デザイナーによる授業や企業説明会の実施など、実践的な取り組みも行われている。
- ④就職支援  
担任指導員と就職支援アドバイザーによる組織的な支援や就職活動セミナーの実施、公開求職者情報による指名求人など、キャリアコンサルティングに力を入れている。特に IT 分野の求人企業に関する情報収集やハローワークの活用、中高年層のキャリアコンサルティングでは、IT 経営やプログラミング、WEB マーケティングを組み合わせた就職活動を推奨している。
- ⑤国への要望
  - ・デジタル人材の育成には若年層を重視したコース設定が必要であると考えられる。また、適切な広報を行い訓練を公平に受講できる仕組みづくりをしてほしい。
  - ・電気代、人件費等の高騰など、市場の動向を踏まえて委託料に転嫁してほしい。

## 就職先企業の意見

### ①受講生の習得している業務に優位なスキル

製図 CAD や PC 業務の応用、インターネットシステムやホームページの改善、Excel を使った業務改善提案などがある。また、IT 全般に関する知識やコーディングの知識、社内業の DX 化の構築なども重要だ。

### ②不足しているスキル

IT 関連の幅広い知識、プログラミング言語の知識、AWS やサーバに関する知識、設計書やテスト仕様書の書き方、電子証明書や認証の仕組みについての知識などが。また、ビジネスルールやコミュニケーション能力、一般常識、自己理解を深めるための授業なども重要。

### ③採用のポイント

ある程度の知識やスキルがあること、Excel や Power Point の活用、システム管理のスキル、経験者との差を埋めるための努力や向上心、ビジネスマナーや社会人スキル、基本の知識の学習、プログラミングの基本スキルの身につけ、新人教育の過程をスキップできることなどを期待している。

### ④職業訓練全般について

採用ミスマッチを減らすために体験の場を設けることや、装置組立に関する知識を含めた内容の検討、クラウド知識や実技面の講義の充実、入社後の自己投資やビジネスマナーの教育の重要性、問題解決や対応力を育む教育の有用性などが意見として挙げられる。

## アンケート結果全体から見える課題

### ①訓練内容で不足していると思われるもの

- ・ AWS に関する知識
- ・ Git (バージョン管理)
- ・ WordPress のスキル
- ・ 設計書やテスト仕様書の書き方
- ・ 設計書やテスト仕様書の書き方
- ・ 電子証明書やデジタル認証
- ・ わからないことを自分で調べるスキル向上

### ②訓練内容以外で不足していると思われるもの

- ・ ビジネスルールやコミュニケーション能力
- ・ 一般常識
- ・ 採用ミスマッチを減らすために体験の場
- ・ 問題解決の能力

## 5. 今後の検討の方向性

この度のアンケート、今後の技術動向等も踏まえた訓練内容等の検討の方向性は以下のとおり。

### 各コース共通事項

就職先のイメージのないまま、訓練をスタートする受講者がどうしても一定数入ってしまう。その結果コースの訓練内容にスキルがあっていないケースで就職するときに応募企業が決まらないという事態になっている。そのため、訓練機関からのご意見であったように就職先の業界企業への会社見学や業界企業から説明会にきていただくなどのミスマッチを減らすより一層の取り組みが必要である。早期の自己理解と就職希望職種決定が決め手になる。

また、若年層の就業未経験者等にはビジネススキルとして、マナーやコミュニケーションスキルアップの授業も必要である。

就職率アップのためには応募書類の作成支援とともに SPI などの一般教養の対策も必要であることを早いうちに周知し、取り組みを促すなども行うべきであろう。

さらに IT 業界では通常の対面式の面接とともにオンライン面接が行われるケースが多いため、その練習やスペースを貸し出すなどの積極的な支援が求められている。

#### ① ICT システムサポート科

主として県内製造業の DX 人材育成を目指し最も幅広い訓練を実施している。県内においても動向として、システムは内製化からクラウドのサービスを利用して開発コストや高度化するセキュリティ対策コストを削減する流れがある。そのため、AWS のサービスに関する知識や技術動向、利用スキルは社内システム構築、保守、管理において欠かせない要素となっている。また岡山県の安定した地盤が好まれ、データセンターが多く、関連求人も多くある。そのためサーバに関する知識も必要となる。具体的には、サーバの仮想化技術、コマンド操作などである。これらの内容も今後必要性が高まることから訓練に取り入れることが必須だと思われる。

#### ② WEB プログラミング科

インターネット Web 関連業界への就職を目指す方が主に受講されているが、年齢が比較的高い方もおられて習得度が下がってしまう傾向がみられ、実施機関もご苦労されている。この業界は新しい技術が日々生まれ、進化が目まぐるしい状況で、若年者の求人が圧倒的に多いのが特徴である。

カリキュラムでは、Web マーケティングやサーバーサイド技術を重点的に重点が置かれているようであるが、Web プログラミングスキルを重視するならクライアントサイド技術と連動させる必要があるためマーケティングを減らして、JavaScript や周辺技術について

の内容を入れたらよいと思われる。また PHP もライブラリの利用技術など実践的な内容で実施するとよいと考えられる。

また、年齢の高い方にも対応できるようにするならマーケティングなど中心とした「Web ビジネス」関連に特化するのもよいと思われる。AWS などのクラウドのサービスや AI など低コストでビジネスを行うために技術を理解して利用するスキル習得を目指すというのも一選択肢である。

### ③ VBA プログラミング科

VBA の習得を通じてユーザ企業等において業務の効率化や生産性向上に資する人材の育成を目指しているが、Excel の使用経験が少ない初心者や逆にゲーム・Web プログラマを目指す方が受講されるなどのミスマッチが起きており、訓練効果が出にくくなっている。Excel の使用経験が少ない方には、「VBA 基礎科」を受講していただく方が望ましいと思われる。

カリキュラムに関しては、システムの機能を適切かつ効率的に実現するため、業務担当者等関係者や開発チーム内での「コミュニケーション能力」を向上させる訓練をはじめ、アジャイル開発に対応した「テスト手法」、「GitHub によるバージョン管理」、将来的には生成系 AI を利用した「マニュアルなどドキュメントの作成」等のスキルを習得できると就職時の強みになると考えられる。

### ④ Web サイト制作科

ユーザ企業で Web サイトの制作・運営・管理を行うことができる知識・技能を習得し、一般の Web 担当者や、製造業等の EC サイト担当者としての就職を目指している。

Adobe のデザイン系アプリのスキルとクライアントサイドの Web プログラミングスキルを中心としたカリキュラムはよいと思われるが、現実的には業界の 8 割の企業が WordPress を利用している企業が多いので、訓練時間をより多く配分することなどの検討が必要と思われる。HTML 等に関しては、WordPress を使うのに困らない程度にしてもよい。

また AWS などのクラウドサービスを利用できるスキルも就職先で役立つと思われる。将来的には AI による画像生成、AI 利用によるコード生成など生産性の向上が見込めるスキル習得なども望ましい。

### ⑤ その他

本県においては、ユーザ企業を主とした就職先とするデジタルリテラシー人材、中でもそのキーパーソンとなる人材（P.2 記載の「①ユーザ」に相当。例えば、IT パスポート試験の範疇の知識を有し、中小企業において DX 等を推進する者等）についても広く求められていると考えられるため、当該人材を育成するためのコース設定も検討する必要がある。

～ 職業訓練効果検証アンケート結果（要約）～

【A 受講者アンケート要約】

- ① 訓練で学んだ知識等のうち、仕事をする上で役立っているもの、(あまり)役立っていないものがあれば記載してください。

役に立っているもの



- ・Linux やネットワーク、権限周りのことなど
- ・WEB を使ったお店の作り方
- ・教えてもらったこと全て
- ・フォントの良し悪し等の知識
- ・Excel・VBA など事務の基礎を固め
- ・ネットワーク知識、サーバ知識
- ・CSS や HTML の知識は全般的に役立っています。
- ・デザインの基礎知識
- ・プログラム処理の考え方、進め方
- ・LAN の作成、コマンド入力

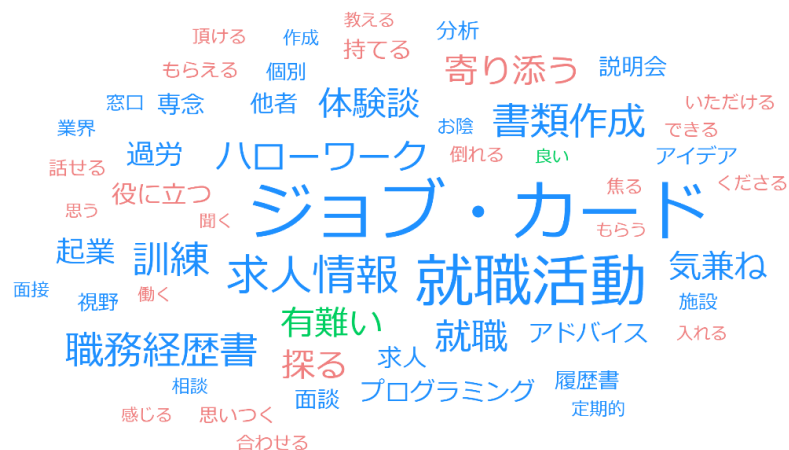
役に立っていないもの

- ・WordPress は使っているテーマによって作り方が変わるので、会社のやり方に慣れるまでは苦労しました。
- ・コーダー業務のため、イラストレーターを使う機会がない。
- ・コーディング、SEO 対策、サーバ知識、WordPress、Web デザイナーの職に就くことができたわけではないので、役立てられていないのが現状です。

② 就職後に感じた、訓練で学んでおくべきであったスキル、技能等について具体的に記載してください。

- ・全体に詳しく勉強したかった。
- ・もう一つ上のレベルの知識
- ・Git (バージョン管理)
- ・チラシのデータ入稿のやり方をより詳しく
- ・エンジニアの出向型と派遣型の制度の違い
- ・PLC の技術
- ・社内インフラ関連
- ・クラウドの知識
- ・WordPress のスキル
- ・調べる能力

③ 訓練施設、ハローワークが実施する就職支援の中でよかったものについて具体的に記載してください。



- ・プログラミングだけでなく、キャリアコンサルティングがあったこと。
- ・お陰で今の会社の就職することができました。
- ・焦らず就職活動に専念できました。
- ・定期的に1対1で面談をしてくださったこと。
- ・就職において企業の説明会があったのが良かったです。
- ・起業した方の体験談
- ・就職する時の書類作成（履歴書等）が大変役に立ったと思います。
- ・訓練終了後も、電話や郵送で求人情報を教えていただいたこと。
- ・就職活動の相談、アドバイス
- ・ジョブ・カード作成

④ その他 職業訓練全般についてご意見等あれば記載してください。

- ・津山でももっと多くの訓練があればいいと思います。
- ・難しいかもわかりませんが、会社の見学とかもあれば嬉しいです。
- ・PCが良スペックなものを使わせていただけたのが良かった。
- ・元々自分が持っていたスキルにプラスαできたのが良かった。
- ・基本情報についての対策がほしかったなと思いました。
- ・親切に対応していただき、ありがとうございました。
- ・また職業訓練で勉強したいです。
- ・先生方が本当に親切に授業をしてくださったことが、ずっと心に残っています。
- ・フォトショップのブラシで絵を描いたことも自信に繋がって良かったです。

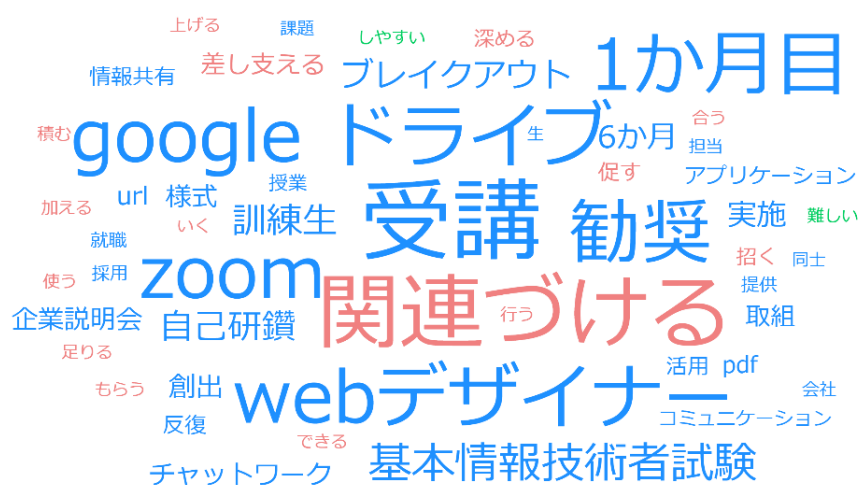


## 【B 訓練実施機関アンケート要約】

### ① 最近の受講者の傾向について気付いた点があれば具体的に記載してください。

- ・ IT 関連職種への応募には年齢や経験に制約があり、就職活動に苦勞する人が多い。
- ・ IT に興味があり、自己学習で経験を積んだ人は効果的な訓練となっている。
- ・ 職歴で IT の重要性を認識している人は理解を意識して受講し、モチベーションが高い。
- ・ IT 関連のイメージしか持っていない人はギャップに苦勞する。
- ・ 40 歳以上の受講者は再就職の可能性はある。
- ・ IT への適性や経験が少ない人は習得度が低い傾向にある。
- ・ IT・WEB 系のコースは難易度が高く、年齢が高くなるほど理解に時間がかかる。
- ・ VBA コースには Excel 経験がない人が多い。
- ・ 訓練の目的や仕事上の目的が設定されていない。
- ・ プログラミングを一括りで考えている人が多い。教室での自主勉強は少なくなっている。
- ・ 受講希望者の中にはフリーランスになりたいと考えている人が多い。
- ・ デジタルを習得する意識が低い。プログラム言語の理解が難しい人が多い。

### ② 訓練実施にあたって工夫している点について具体的に記載してください。

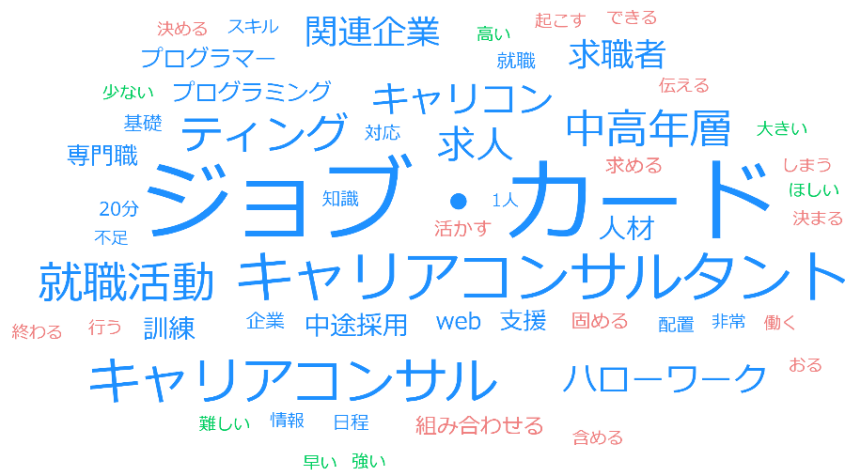


- ・ Google ドライブを活用した受講生との効率的な情報共有
- ・ 受講者への各種案内を行い、受講者自ら自己研鑽できるようにサポートしている。
- ・ 受講生同士でのオンラインでの座談会や勉強会の実施
- ・ 講義内容としては、画面共有による授業に合った WEB プログラミングの採用、PDF の教材の活用
- ・ 実務を意識した実習及び演習を設定し、就職後の仕事をイメージできるようにしている。
- ・ 習得面に関しては、現役の Web デザイナーの方に授業を担当してもらい、最新のものを提供
- ・ 企業の採用担当者を招いての企業説明会の実施し、IT 関連業界への理解を深める取組をし

ている。

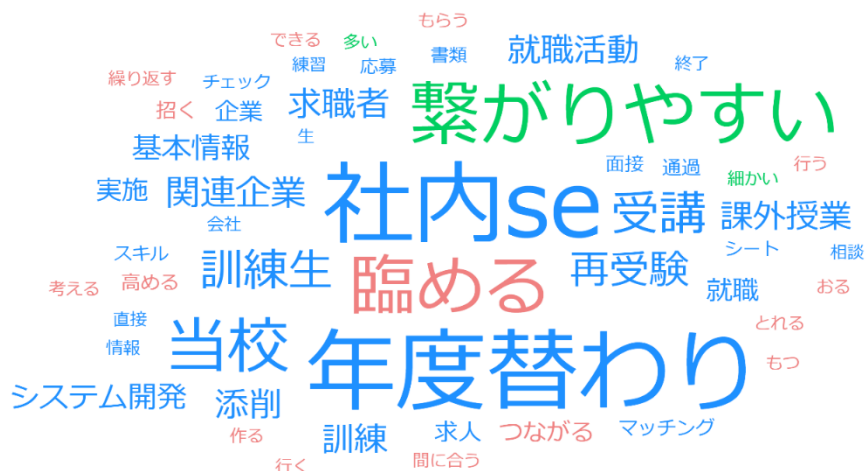
- ・訓練生の不安や不満をキャッチできるようにアンケートや休憩時間を使った面談などを実施して相談しやすい工夫をしている。
- ・資格取得の勧奨（IT パスポートや基本情報技術者試験）（6 か月のうち複数回実施）

③ 訓練実施機関が行っているキャリアコンサルティングの状況について具体的に記載してください。



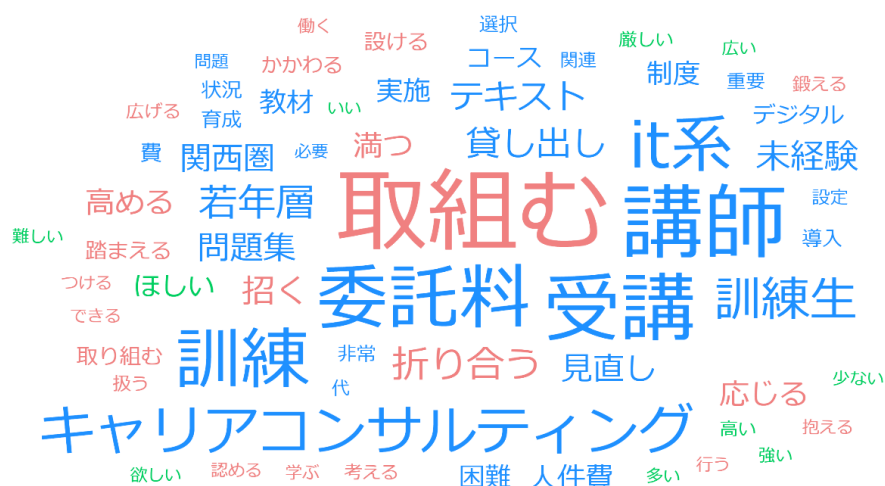
- ・担任指導員と就職支援アドバイザーによる組織的な支援
- ・就職活動セミナーの実施
- ・公開求職者情報による指名求人
- ・IT 分野の求人企業に関する情報収集とキャリアコンの活用
- ・IT や WEB に関するハローワークの求人不足や求める人材の高度化に対応するため、基礎知識とプログラマへのアピールが重要であることを伝えている。
- ・中高年層のキャリアコンサルティングでは、IT 経営、プログラミング、WEB マーケティングを組み合わせた就職活動を推奨している。
- ・ジョブ・カードの添削に十分な時間を割くために、専門職のキャリアコンサルタントを配置することが望ましい。
- ・キャリアコンサルティングは決まった日程だけでは十分な対応が難しいため、意識の高い方には訓練時間以外でも対応している。

④ 就職支援の取り組み（就職につながった事例、継続している取組、最近変えてみてよかった取組等）について具体的に記載してください。



- ・受講者が就職活動に自信を持てるよう、担任指導員と就職支援アドバイザーによる専門的な応募書類チェックを行っています。
- ・受講者の情報を企業に提供し、マッチングを行っています。
- ・システム開発会社やネットショップ関連企業の担当者を招いた就職相談会も行っており、これらの活動が就職につながっています。
- ・訓練終了後もメールや面接練習での相談を行っています。

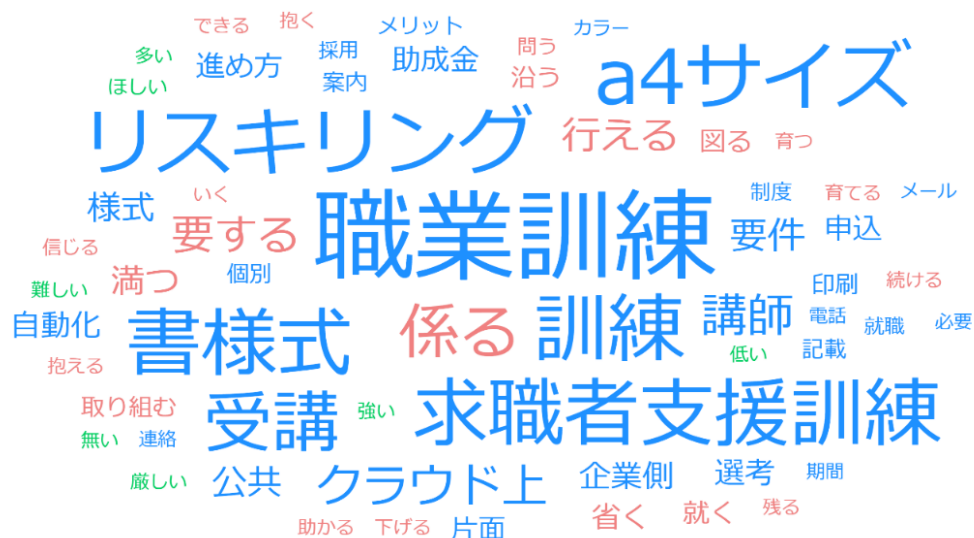
⑤ 訓練実施にあたって国への要望、改善してほしい点について具体的に記載してください。



- ・IT 関連の取組みは国策として実施されており、より多くの人々に訓練を受けさせるために広報活動を行う必要がある。
- ・デジタル機器の導入には支援費が必要であり、オンラインでのプログラミング学習を推進するためにはマルチディスプレイの導入が重要である。

- ・実践コースでは自己啓発的な科目を実施したいとの要望がある。
- ・IT・WEB系の講師を育成する機関や制度の整備が必要である。
- ・デジタル人材の育成には若年層を重視したコース設定が必要であると考えられる。
- ・人件費用の高騰もあり、ITスキル標準のレベル毎に段階的な委託費（講師代）を設定してほしい。
- ・著作権等厳しくなっていることもあり、オリジナル問題集等を教材として認めてほしい。
- ・テキストの購入は、訓練生自身で選択して購入すべき。
- ・訓練を公平に受講できる仕組みづくりをしてほしい。
- ・電気代、人件費等の高騰など、市場の動向を踏まえて委託料に転換してほしい。
- ・初めて申し込みをした人の優先順位を高めてほしい。

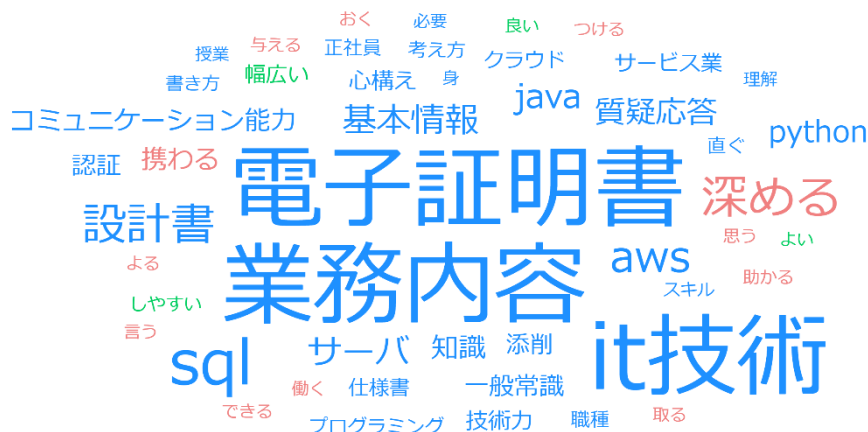
⑥ その他 職業訓練全般についてご意見等あれば記載してください。



- ・社会情勢の変化により、職業訓練への関心が高まっている。
- ・訓練機関との連携を強化し、効果的な訓練への誘導を行いたい。具体的には、訓練受講申込書にメールアドレスの記載欄を追加し、メールでの一斉案内を行い、個別連絡が必要な場合にのみ電話連絡を行う。
- ・カラー印刷や両面印刷をやめ、個人情報やセキュリティの観点からメールでのやり取りを廃止し、クラウド上でファイルのやり取りができるようにする。
- ・講師不足の問題に対応するため、アシスタント要件を下げることを提案する。
- ・訓練は、講師と設備等の準備が必要ですが、現在は講師を育てたりする余裕がありません。
- ・オンライン授業への要望もある。・現在の訓練の問題点として、講師の育成や事務処理の自動化、コスト削減の余地がないことが挙げられる。
- ・公共の訓練制度は講師要件が厳しく、委託費も低いため、継続が不安視されているが、地域への貢献や必要性を信じて取り組んでいる。



- ② 訓練において、より一層習得しておくことが望ましいスキル、技能等について具体的に記載してください。



### IT 技術

- ・ IT 関連の知識が幅広いことが望ましい。
- ・ サーバやクラウドに関する知識
- ・ プログラミング言語（Java、SQL、Python など）の知識が重要
- ・ AWS やサーバに関する知識も今後役立つ。
- ・ 基本情報技術の資格も推奨される。
- ・ プログラミングのスキル以外に設計書やテスト仕様書の書き方
- ・ 一般的なテストパターンの考え方も重要
- ・ 具体的な業務に関すること。
- ・ 電子証明書や認証の仕組みについての知識が役立つ。

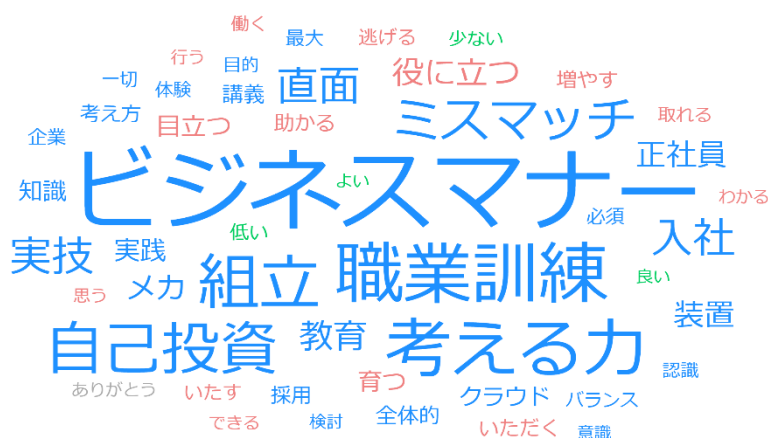
### IT 技術以外

- ・ ビジネスルールやコミュニケーション能力
- ・ 一般常識も身につけることが求められる。
- ・ 自己理解を深めるための授業
- ・ 職業に必要なコミュニケーション能力
- ・ 思考法を身につける授業が必要である。
- ・ 文章スキルも重要である。

③ 訓練修了者の採用について、未受講者（未経験者）の採用の場合と比較して期待していること（同程度の経験等を有する者同士を比較。採用事例が無い場合は想定で）について具体的に記載してください。

- ・ある程度の知識があるので採用がスムーズで助かりました。
- ・積極的にスキルを活用してもらえれば十分です。
- ・Excel で表計算、Power Point の資料作成などに展開できること。
- ・システム管理においてスキルを発揮してもらいたい。
- ・一定の技術力、システム知識がある。
- ・また、経験者との差を埋めるための努力と向上心があれば評価したい。
- ・ビジネスマナーなどの社会人スキル、就業意識
- ・実際の業務において即戦力になるかは別として、基本の知識は学習しているとの認識
- ・同程度の経験を有する者同士の比較であれば、それまでの経歴よりも資質を重視する。
- ・プログラミングなどの基本スキルを身につけ、新人教育の過程をスキップでき、直ぐOJTで業務に入っていただけることを期待しています。

④ その他 職業訓練全般についてご意見等あれば記載してください。



- ・体験の場を設けることで、採用ミスマッチを減らすことができると思います。
- ・職業訓練の内容には、装置組立に関する知識を含めて検討してほしいです。
- ・クラウド知識が必要とされる時代になっているため、そのような授業があれば助かります。
- ・実技面の講義を増やすことで、実践力のある人材が育つと思います。
- ・日本の企業で働く意識が低下しているように感じます。入社後の自己投資やビジネスマナーの教育も重要です。
- ・問題解決や対応力を育む教育が役に立つと思います。